

私たちは文化財をとおして  
ゆたかな滋賀づくりに貢献します。



財団法人滋賀県文化財保護協会  
Shiga Prefectural Association for Cultural Heritage

季刊 見る・聞く・触れる 文化財

# おうみ文化財通信 vol. 1

Information of Cultural Heritage in OHMI

2009 Autumn

1

## 財団法人滋賀県文化財保護協会とは —近江の文化財の調査・保護・活用機関—

—私たちは、文化財の調査、活用事業を通してゆたかな滋賀づくりに貢献します—

滋賀県文化財保護協会は、1970年（昭和45年）に設立され、来年度には設立40周年を迎えようとしています。この間、文化財に対する社会の情勢は大きく変化してきました。それは、文化財を地域の資産として活かそうとする気運の高まりと、これへのサポートに対する文化財調査機関への期待の高まりです。私たちは、この期待に応えることを社会から課せられた責務と考え、文化財に関する情報を県民に還元するための活用事業を、発掘調査と並ぶ事業の柱として位置づけています。「おうみ文化財通信」は、この取り組みの一環として創刊するものです。

2

【トピックス】

## 『びわこの考湖学 1』 刊行記念講演会開催！！

当協会では、平成19年より産経新聞滋賀版で、「びわこの考湖学」を連載しています。今回、読者の皆様のご要望に答える形で、第1号から第65号までを『びわこの考湖学—琵琶湖をめぐる交通と経済力—』として1冊にまとめ、平成21年10月13日に出版・刊行します。

その記念事業として、下記のとおり刊行記念講演会を開催いたします。ふるってご参加ください。

日 時：平成21年10月10日（土）13：00～15：50

場 所：滋賀県立安土城考古博物館 セミナールーム

参加費：無料。ただしテキストとして、新刊の「びわこの考湖学 1」  
(1300円、当日特別価格)をお買い求めいただけます。

内 容：1：「総論：琵琶湖—日本を支えた湖の回廊—」

2：「日本海域としての琵琶湖」

3：「琵琶湖船舶の構造と技術の歴史」

4：「琵琶湖水運の終焉」

★詳細は当協会ホームページでも掲載中です。



## 3

【調査課通信】

## よみがえる佐和山城

「三成に過ぎたるもの二つあり、島の左近と佐和山の城」。後世になって、このように形容された佐和山城は、慶長5年（1600年）天下分け目の関ヶ原合戦で西軍を率いた石田三成の居城として全国的に有名です。今回、この佐和山城ではじめて本格的な発掘調査を行い、浅井氏と六角氏の抗争の時代（16世紀中頃）と三成在城の時代（1590～1600年）を中心とした武家屋敷の構造を復元する上で、極めて貴重な成果をあげることができました。

今回の調査区は、『佐和山城絵図』に記された「侍屋敷」に相当し、屋敷地を区画する堀や溝、排水施設と考えられる石組遺構、堀を渡る橋状遺構などが確認され、堀からは土器類や漆器類の他に手箱を飾る桐文銅製紐金具（写真）や小柄や鉄砲弾など、正に武家屋敷の生活を彷彿とさせる遺物も出土しました。7月26日に開催しました現地説明会の参加者は、雨天にもかかわらず約400名を数え、城郭や戦国武将への関心の高さを感じました。現地説明会資料は、当協会ホームページに掲載しています。



桐文銅製紐金具

きりもん こづか

## 4

【埋文センター通信】

## 秋の体験学習のお知らせ

滋賀県埋蔵文化財センターでは、文化財に親しみ、地域の歴史に触れることを目的とした、体験学習を実施しています。今年は、夏に続いて秋にも体験学習を予定しています。今回は、縄文時代の主食だったドングリを使って、古代の食文化や染色技術を学びます。秋にしか採れない材料を使って、秋にしか出来ない体験をしましょう。

- 体験日程：1. 10月24日(土) 実のりの秋の考古学体験1  
ドングリを集めよう！（無料）
2. 10月31日(土) 実のりの秋の考古学体験2  
ドングリを食べよう！（500円）
3. 11月1日(日) 実のりの秋の考古学体験3  
ドングリで布を染めよう！（500円）

申し込み方法：事前予約が必要です。

★お申し込み先は、このページ下をご覧ください。★



## 5

【あきつ通信】

## 琵琶湖文化館からのご案内

琵琶湖文化館では、滋賀の文化財講座『打出のコツチ』〈全7回〉を開催しています。近江には国宝・重要文化財を含む多種多様な文化財が伝わり、琵琶湖文化館や滋賀県教育委員会ではこれらの文化財を保護するため、調査や保存修理など様々な取り組みをしてきました。

本講座は、これらの活動の成果をいち早く皆様にご報告するとともに、近江の文化財に秘められた魅力を詳しくご紹介します。詳しい内容は、4ページのイベント情報をご覧ください。また、連絡先は次ページ下をご覧ください。



## 6

【コラム】

## 遺跡は地域の宝

私たちが行っている発掘調査であつかう遺跡は、祖先が残した様々な歴史の痕跡であり、そのひとつひとつがそれぞれの地域の固有の歴史と文化を雄弁に物語る、大切な地域の財産です。



滋賀県における初期の発掘調査（大津市福王子15号墳）

大津市南志賀二丁目の福王子神社境内には、6世紀後半に造営された福王子古墳群があります。福王子古墳群には計15基の円墳からなり、うち7基が発掘調査されました。副葬品にミニチュアの「かまど」などが入れられていました。

地域の生活を通して遺跡を見ると、遺跡は、それだけで存在しているのではないことが分かります。私たちの生活の中や琵琶湖、里山・山岳などの自然や暮らしとともに遺跡が在り、個性的な景観と雰囲気醸し出しています。そこには故郷があります。

遺跡は本来、現状のままで保存されることが望まれます。残念ながら、開発工事により遺跡が失われてしまう場合もあります。一度壊れれば二度ともとは戻りません。しかし、私たちの現在の生活・経済活動もまた、大切です。そこで開発工事の前に発掘調査を行い、写真や図面で記録を保存します。

遺跡を通して歴史の流れをたどるとき、そこに先人たちの生活や考え方を読み取ることができます。そしてそれが、現在にどのように受け継がれ、また変わってきたのかを知ることができます。

それが文化のシンボルとして、将来に向かって生活するための羅針盤になるのです。

## 7

【まなぶ】

## 平成21年度連続講座下半期の受講者を募集します。

平成20年度から開校している連続講座「モノ知り学－遺跡調査員が語る近江の歴史」の下半期の講座の募集が始まります。この講座の特徴は、専門の調査員が講義するだけでなく、受講者が実物の遺物を手に取りながら学べる点です。今年度の下半期は、古墳時代から古代を中心に取り上げます（裏面のイベント情報参照）。中でも、公開講座「近江の古代」と題して3名の調査員による集中講義では、近江における都城の選地の在り方、遺跡・遺構・遺物から水陸の物流の具体例に触れ、近江の古代の特色について明らかにしていきます。また、第7回・11回の講座では、屋外に飛び出し、調査員の解説を聞きながら、古墳（横穴式石室）や仏像をみて、感じていただきます。

詳細は当協会ホームページでも掲載中です。



講義の風景（平成20年度）

## ■(財)滋賀県文化財保護協会主催事業■ 問い合わせ先：TEL 077-548-9780/FAX 077-543-1525

No.	日程	曜日	時間	イベント名	定員	予約	参加費	会場(集合場所)
1	10/10	土	13:00~15:50	講座 『びわこの考湖学Ⅰ—琵琶湖をめぐる交通と経済力—』刊行記念講演会 「琵琶湖—日本を支えた湖の回廊—」 大沼芳幸 (滋賀県文化財保護協会) 「日本海域としての琵琶湖」 畑中英二 (滋賀県教育委員会) 「琵琶湖船舶の構造と技術の歴史」 横田洋三 (滋賀県文化財保護協会) 「琵琶湖水運の終焉」 辻川哲朗 (滋賀県文化財保護協会)	140	—	—	滋賀県立安土城考古博物館 (資料代1,300円)
2	10/24	土	13:30~15:30	講座 平成21年度連続講座「モノ知り学—遺跡調査員が語る近江の歴史—」 第6回「大津北郊志賀古墳群が語る渡来文化」 講師：堀真人 (滋賀県文化財保護協会)	20	○	500	滋賀県埋蔵文化財センター
3	10/25	日	13:00~	探訪 平成21年度連続講座「モノ知り学—遺跡調査員が語る近江の歴史—」 第7回「大津北郊志賀古墳群が語る渡来文化(現地見学)」 講師：堀真人 (滋賀県文化財保護協会)	20	○	500	滋賀里 八幡神社境内
4	11/3	祝	13:00~16:30	講座 びわ湖と川の考古学(柳遺跡・赤野井浜遺跡調査成果報告会)	100	—	—	イオンモール草津
5	11/5	木	9:00~16:00	探訪 バスと船で廻る文化財探訪「信長の戦略1—天下布武の湖—」	70	○	6,500	浜大津港
6	11/19	木	9:00~16:00	探訪 バスと船で廻る文化財探訪「美輪湖(めぐるうみ)1—錦秋の湖西路と水的美を訪ねる—」	70	○	6,500	長浜港
7	11/15	日	13:00~16:30	講座 平成21年度連続講座「モノ知り学—遺跡調査員が語る近江の歴史—」 第8回公開講座 近江の古代 「日本古代都城の選地について」 葛野泰樹 (滋賀県文化財保護協会) 「近江の古代交通」 内田保之 (滋賀県文化財保護協会) 「田原道の考古学」 藤崎高志 (滋賀県文化財保護協会)	140	—	500	滋賀県立安土城考古博物館
8	12/20	日	13:30~15:30	講座 平成21年度連続講座「モノ知り学—遺跡調査員が語る近江の歴史—」 第9回「将棋の駒について」 講師：三宅弘 (滋賀県埋蔵文化財センター)	20	○	500	滋賀県埋蔵文化財センター
9	1/24	日	13:30~15:30	講座 平成21年度連続講座「モノ知り学—遺跡調査員が語る近江の歴史—」 第10回「膳所城下町の生活用具について」 講師：中村智孝 (滋賀県文化財保護協会)	20	○	500	滋賀県埋蔵文化財センター
10	2/28	日	13:30~15:30	講座 平成21年度連続講座「モノ知り学—遺跡調査員が語る近江の歴史—」 第11回「湖(うみ)の仏達」 講師：大沼芳幸 (滋賀県文化財保護協会) 井上ひろ美 (滋賀県立琵琶湖文化館)	20	○	500	慈眼寺(守山市吉身1丁目)

## ■滋賀県立安土城考古博物館主催事業■ 問い合わせ先：TEL 0748-46-2424/FAX 0748-46-6140

※予約に必要なイベントは1ヶ月前より予約開始

No.	日程	曜日	時間	イベント名	定員	予約	参加費	会場(集合場所)
11	9/8~12/6	○	9:00~17:00	展示 テーマ展「中川泉三と蒲生郡展」	—	—	400	滋賀県立安土城考古博物館
12	9/19~11/8	○	9:00~17:00	展示 平成21年度秋季特別展「戦国の城—安土城への道」	—	—	660	滋賀県立安土城考古博物館
13	10/12	祝	13:30~	体験 体験博物館 石仏をしらべてみよう	20	○	未定	滋賀県立安土城考古博物館
14	10/18	日	13:30~	体験 体験博物館 観音寺城を探検する	20	○	300	滋賀県立安土城考古博物館
15	10/25	日	10:00~	体験 体験博物館 秋のお茶会	—	—	—	滋賀県立安土城考古博物館
16	11/1	日	13:30~	体験 体験博物館 忍者になってみよう	30	○	500	滋賀県立安土城考古博物館
17	11/3	祝	13:30~15:00	講座 秋季特別展記念講演『戦国の城下町 信長の城下町』 講師：仁木宏氏 (大阪市立大学)	140	—	—	滋賀県立安土城考古博物館
18	11/8	日	13:30~	体験 体験博物館 戦国食をつくろう	20	○	500	滋賀県立安土城考古博物館
19	11/29	日	13:30~	講座 博物館講座「琵琶湖文化館と修復の世界」 講師：井上ひろ美 (滋賀県立琵琶湖文化館)	140	—	—	滋賀県立安土城考古博物館
20	12/6	日	13:30~	講座 博物館講座「絵図・地図を読む」 講師：神保忠宏 (滋賀県埋蔵文化財センター)	140	—	—	滋賀県立安土城考古博物館

## ■滋賀県立琵琶湖文化館主催事業■ 問い合わせ先：TEL 077-522-8179/FAX 077-522-9634

No.	日程	曜日	時間	イベント名	定員	予約	参加費	会場(集合場所)
21	10/29	木	13:30~15:00	講座 滋賀の文化財講座打出のコツチ 第5回「仏と盗人と落書き」 講師：井上優 (県教委文化財保護課)	40	○	—	コラボしが21
22	11/26	木	13:30~15:00	講座 滋賀の文化財講座打出のコツチ 第6回「滋賀県新指定文化財説明会」	40	○	—	コラボしが21
23	12/24	木	13:30~15:00	講座 滋賀の文化財講座打出のコツチ 第7回「近代建築を守り、活かす」 講師：尾山義高 (県教委文化財保護課)	40	○	—	コラボしが21

## ■滋賀県埋蔵文化財センター主催事業■ 問い合わせ先：TEL 077-548-9681/FAX 077-548-9682

No.	日程	曜日	時間	イベント名	定員	予約	参加費	会場(集合場所)
24	10/24	土	13:00~	体験 実のりの秋の考古学体験1 ドングリを集めよう!	20	—	—	滋賀県埋蔵文化財センター
25	10/31	土	10:00~14:00~	体験 実のりの秋の考古学体験2 ドングリを食べよう!	20	○	500	滋賀県埋蔵文化財センター
26	11/1	日	10:00~14:00~	体験 実のりの秋の考古学体験3 ドングリで布を染めよう!	20	○	500	滋賀県埋蔵文化財センター
27	11/28	土	未定	講座 近江湖もの物語3 「王と武士の湖」	200	—	—	コラボしが21